

## 「高等学校 古典講読」年間指導計画表

### 【源氏物語】

教材名	形態	時数	内容			言語活動例			指導目標	評価規準	評価方法
			ア	イ	ウ	ア	イ	ウ			
桐壺 いづれの御時にか、 皇子誕生	物語	2							音読させることで、古文の奥深さを実感させる。 (関心・意欲・態度) 光源氏が生まれるまでの経緯をまとめさせる。(書く能力) 『源氏物語』の文学的意味と、語句の意味・用法を理解させる。(知識・理解)	繰り返し音読することで、物語文学の代表作である『源氏物語』を読み味わい、古文の奥深さを実感しようとしている。 (関心・意欲・態度) 光源氏が生まれるまでの経緯や周囲の人々の心情を文章にまとめている。 (書く能力) 『源氏物語』の文学的意味と語句の意味・用法を理解している。(知識・理解)	行動の観察 音読の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
桐壺 高麗人の観相	物語	1							予言の内容、光源氏の生い立ちを的確に捉えさせる。 (関心・意欲・態度) 光源氏が臣下に下された理由を整理させる。(書く能力) 敬語の種類と敬意の対象について理解させる。(知識・理解)	高麗人の相人による予言の内容と光源氏の生い立ちを的確に捉えようとしている。 (関心・意欲・態度) 光源氏が臣下に下された理由を整理し、文章にまとめている。 (書く能力) 敬語の種類と敬意の対象について理解している。(知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
桐壺 藤壺思慕	物語	1							光源氏の藤壺に対する思慕の情を味わわせる。 (関心・意欲・態度) 表現の特徴、文章の調子を味わいながら、音読させる。 (話す・聞く能力) 二重敬語について理解させる。(知識・理解)	光源氏の藤壺に対する思いを読み味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 古文特有の表現、文章の調子を味わいながら音読している。 (話す・聞く能力) 二重敬語の用法について理解している。(知識・理解)	行動の観察 音読の観察 小テスト ペーパーテスト
光源氏という名前									光源氏の名前の由来を的確に捉えさせる。(関心・意欲・態度)	光源氏の名前の由来を的確に捉えようとしている。	行動の観察 話し合いの

								光源氏の名前に暗示される意味について話し合わせる。 (関心・意欲・態度) 『源氏物語』の登場人物の名を理解させる。 (話す・聞く能力) (知識・理解)	(関心・意欲・態度) 光源氏の名前に暗示される意味について話し合っている。 (話す・聞く能力) 『源氏物語』の様々な登場人物の名を理解している。 (知識・理解)	観察 小テスト ペーパーテスト
夕顔 八月十五夜	物語	2						背景に描かれた風物の効果を味わわせ、登場人物の言動から、物語の魅力に触れさせる。 (関心・意欲・態度) 光源氏の心情について、話し合わせる。 (話す・聞く能力) 用言の活用の種類と活用形を理解させる。 (知識・理解)	物語の背景に描かれた風物の効果を味わい、登場人物の言動を通して物語の魅力に触れようとしている。 (関心・意欲・態度) 光源氏は夕顔をどのように感じているのか、話し合っている。 (話す・聞く能力) 用言の活用の種類と活用形を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 話し合いの観察 小テスト ペーパーテスト
夕顔 廃院の怪	物語	2						廃院での出来事、光源氏の心情を捉えさせる。 (関心・意欲・態度) 夕顔の変化の原因に対する、光源氏の心情について、話し合わせる。 (話す・聞く能力) 作品の背景にある習俗や風習を理解させる。 (知識・理解)	廃院での出来事、それに対する光る言辞の心情を的確に捉えようとしている。 (関心・意欲・態度) 夕顔の変化の原因を、光源氏はどのように考えているか、意見を述べている。 (話す・聞く能力) 作品の背景にある、平安時代の物の怪に対する考え方を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 音読の観察 発表の観察 小テスト ペーパーテスト
若紫 北山の垣間見	物語	2						繰り返し音読させ、若紫がどのように描かれているか、捉えさせる。 (関心・意欲・態度) 光源氏の心情について、考えさせる。 (話す・聞く能力) 平安時代の習俗や風習について調べ、理解させる。 (知識・理解)	繰り返し音読することで、若紫がどのように描かれているか、的確に捉えようとしている。 (関心・意欲・態度) 光源氏が若紫をどのように見ているのかを捉え、なぜ心惹かれたのかを考え、話し合っている。 (話す・聞く能力) 平安時代の垣間見について調べ、理解している。	行動の観察 音読の観察 話し合いの観察 小テスト ペーパーテスト

									(知識・理解)		
若紫 野辺の若草	物語	1							音読を通して、物語における和歌の効果を読み味わわせる。 (関心・意欲・態度) 光源氏的心情について考えさせ、まとめさせる。(書く能力) 和歌の技法について理解させる。 (知識・理解)	音読することで、物語における和歌の効果を読み味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 光源氏は、若紫を引き取ったのちのことをどのように考えているのか、まとめさせる。 (書く能力) 和歌の技法について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 音読の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
紅葉賀 皇子参内	物語	1							物語の人物関係の妙を味わわせる。 (関心・意欲・態度) 帝と光源氏、藤壺の心情の対照を読み比べさせ、整理させる。 (書く能力) 敬語の種類と敬意の対象について理解させる。 (知識・理解)	物語を深めていく人物関係の妙を味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 帝と光源氏、藤壺それぞれの思いを読み比べ、整理している。 (書く能力) 敬語の種類と敬意の対象について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
葵 車争い	物語	1							なぜ争いが生じたのかを読み取り、考えさせる。 (関心・意欲・態度) 六条御息所的心情を、整理させる。 (書く能力) 作品の背景にある習俗や風習について理解させる。 (知識・理解)	なぜ争いが生じたのかを読み取り、自分に置き換えて考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 六条御息所的心情を、その立場や周囲の状況を考え合わせて整理している。 (書く能力) 作品の背景にある葵祭や、牛車の様子、従者の様子などを理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
葵 物の怪の出現	物語	2							音読を通して、六条御息所的心情を味わわせる。 (関心・意欲・態度) 物の怪の正体が、光源氏に分かった理由を話し合わせる。 (話す・聞く能力) 『源氏物語』における怪異譚の描かれ方について理解させる。 (知識・理解)	音読し、六条御息所の悲しみを味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 葵の上を苦しめた物の怪の正体が、光源氏に分かった理由について、自分の考えを明確にして話し合っている。 (話す・聞く能力) 『源氏物語』における怪異	行動の観察 音読の観察 話し合いの観察 小テスト ペーパーテスト

										譚の描かれ方について理解している。 (知識・理解)		
須磨 心づくしの秋風	物語	2								和歌の引用が生む効果を読み味わわせる。(関心・意欲・態度) 光源氏と従者たちの心情を整理させ、まとめさせる。 (書く能力) 反実仮想の用法について理解させる。 (知識・理解)	和歌を引用した理由を読み取り、その効果を味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 須磨に退去した光源氏と従者たちの心情をまとめている。 (書く能力) 俳句の特色や、近代俳句の展開、を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
明石 嵐の夜	物語	2								嵐に秘められた意味を味わわせる。 (関心・意欲・態度) 故桐壺院と光源氏の親子関係を理解させ、それぞれの心情を整理させる。 (書く能力) 語句の意味を調べさせ、意味・用法を理解させる。 (知識・理解)	光源氏が嵐に遭遇したことがどのような意味を持つのか読み味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) これまでの粗筋を踏まえて、故桐壺院と光源氏の親子関係を理解させ、それぞれの心情を整理しまとめている。 (書く能力) 語句の意味を辞書で調べ、意味・用法を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
薄雲 母子の別れ	物語	2								登場人物の心情を踏まえて、人間の生き方について考えさせる。 (関心・意欲・態度) 明石の君親子の離別に見られる登場人物の心情について話し合わせる。 (話す・聞く能力) 和歌の修辞について理解させる。 (知識・理解)	登場人物の心情を踏まえて人間の生き方について考えを深めようとしている。 (関心・意欲・態度) 明石の君親子の離別に見られる、明石の君と光源氏の心情について考えを深めている。 (話す・聞く能力) 和歌の修辞について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 話し合いの分析 小テスト ペーパーテスト
薄雲 藤壺の死	物語	2								登場人物の心情を踏まえて、普遍的な悲しみについて考えさせる。 (関心・意欲・態度) 藤壺との死別に際しての光源氏の心情をまとめさせる。	登場人物の心情を踏まえて、普遍的な悲しみについて考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 藤壺との死別に際しての光	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト

									(書く能力) 作品の背景にある習俗や風習を 理解させる。(知識・理解)	源氏の言動や心情を整理し、 文章にまとめている。 (書く能力) 作品の背景にある、普遍の 自然と変転する人事とを対比 する観念などを理解してい る。(知識・理解)	ペーパーテ スト
藤裏葉 明石の姫君の入内	物語	2							自分の考えを的確に表現する工 夫をさせる。 (関心・意欲・態度) 明石の君と紫の上の互いの評価 について話し合わせる。 (話す・聞く能力) 古語の意味・用法を正確に理解 させる。(知識・理解)	自分の考えたことを的確に 表現する工夫をしようとして いる。 (関心・意欲・態度) 明石の君と紫の上が互いの 人柄をどのように評価してい るのか考え、意見を述べてい る。(話す・聞く能力) 古語の意味を辞書で調べ、 その意味・用法を正確に理解 している。(知識・理解)	行動の観察 話し合いの 分析 小テスト ペーパーテ スト
若葉 上 女三の宮の降嫁	物語	2							登場人物の心情を通して、人生 観を豊かにさせる。 (関心・意欲・態度) 女三の宮の降嫁に際しての、光 源氏と紫の上の心情をまとめさせ る。(書く能力) 敬語の種類と敬意の対象につい て理解させる。(知識・理解)	登場人物の心情を読み取り、 ものの見方・考え方を深 めようとしている。 (関心・意欲・態度) 女三の宮の降嫁に際して の、光源氏と紫の上の心情を まとめ、自分の考えを文章で 表現している。 (書く能力) 敬語の種類と敬意の対象に ついて理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート 等)の分 析 小テスト ペーパーテ スト
柏木 五十日の祝ひ	物語	2							光源氏の、女三の宮と薫に対す る心情を的確に捉えさせる。 (関心・意欲・態度) 平安時代の習俗や風習について 調べ、現代のものとの関連を探ら せる。(書く能力) 光源氏の独白に注目して、文の 構造を理解させる。(知識・理解)	光源氏の、女三の宮と薫に 対する心情を的確に捉えよう としている。 (関心・意欲・態度) 平安時代の習俗や風習につ いて調べ、現代のものとの関 連を文章を工夫してまとめて いる。(書く能力) 光源氏の独白による心理描 写に注目して、文の構造を理 解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート 等)の分 析 小テスト ペーパーテ スト

幻 形見の文	物語	2						光源氏の言動と考え方から人生の悲哀について考えを深めさせる。 (関心・意欲・態度) 光源氏の言動から、紫の上への思いを読み取らせ、説明させる。 (話す・聞く能力) 和歌の修辞について理解させる。 (知識・理解)	光源氏の言動と考え方を読み取り、人生の悲哀について考えを深めようとしている。 (関心・意欲・態度) 光源氏の言動から、紫の上への思いを読み取り、筋道立てて説明している。 (話す・聞く能力) 和歌の修辞について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 発表の分析 小テスト ペーパーテスト
光る源氏の子どもたち								物語文学の面白さに触れさせる。 (関心・意欲・態度) 「宇治十帖」につながる人物関係についてまとめさせる。 (書く能力) 「宇治十帖」の特質を理解させる。 (知識・理解)	現代にも通じる物語文学の面白さを味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 「宇治十帖」につながっていく人物関係について整理し、まとめている。 (書く能力) 「宇治十帖」の特質を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
浮舟 匂宮との逢瀬	物語	1						「宇治十帖」の世界を読み味わわせる。 (関心・意欲・態度) 和歌の贈答から読み取れる、匂宮と浮舟の心情について話し合わせる。 (話す・聞く能力) 贈答歌の特徴、比喻の働きを理解させる。 (知識・理解)	「宇治十帖」の世界を読み味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 和歌の贈答から読み取れる、匂宮と浮舟の心情について考え、意見を発表している。 (話す・聞く能力) 贈答歌の特徴、比喻の働きを理解している。 (知識・理解)	行動の観察 発表の分析 小テスト ペーパーテスト
浮舟 浮舟の決意	物語	2						書簡体小説との読み比べを通して手紙の役割を考察させる。 (関心・意欲・態度) 浮舟と浮舟の母親などの心情を読み取らせ、まとめさせる。 (書く能力) 古語の意味、用法を理解させる。 (知識・理解)	書簡体小説との読み比べを通して、物語の中に配された手紙の役割について考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 死を決意した浮舟の心情やその母親の心配などを読み取り、文章にまとめている。 (書く能力) 古語の意味を調べ、その用法を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト

夢浮橋 小野の里訪問	物語	1							<p>使用者としての小君の役割について考えさせる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>使用者としての小君の役割を踏まえつつ、薫と浮舟の心情を説明させる。 (話す・聞く能力)</p> <p>助詞・助動詞の働きと用法について理解させる。(知識・理解)</p>	<p>使用者としての小君の役割について考えようとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>使用者としての小君の役割を踏まえつつ、薫と浮舟の心情を説明している。 (話す・聞く能力)</p> <p>助詞・助動詞の働きと用法について理解している。 (知識・理解)</p>	<p>行動の観察 発表の分析 小テスト ペーパーテスト</p>
夢浮橋 夢の浮橋	物語	1							<p>薫と浮舟の心情を捉え、現代にも通じる心の機微を捉えさせる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>薫と浮舟の心情について話し合わせる。 (話す・聞く能力)</p> <p>敬語の特性について理解させる。 (知識・理解)</p>	<p>薫と浮舟の心情を捉え、現代にも通じる心の機微を捉えようとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>薫と浮舟の心情について考え、話し合っている。 (話す・聞く能力)</p> <p>敬語の特性について理解している。 (知識・理解)</p>	<p>行動の観察 話し合いの分析 小テスト ペーパーテスト</p>
源氏物語の結末									<p>『源氏物語』の結末について考えさせ、古文の奥深さを実感させる。 (関心・意欲・態度)</p> <p>その後の浮舟について想像させ、文章で表現させる。 (書く能力)</p> <p>物語全体の流れと文学的位置について理解させる。 (知識・理解)</p>	<p>『源氏物語』の結末について考えさせ、古文の奥深さを味わおうとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>その後の浮舟について想像し、自分の考えを文章にまとめている。 (書く能力)</p> <p>物語全体の流れと文学的位置について理解している。 (知識・理解)</p>	<p>行動の観察 音読の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト</p>

【枕草子】

教材名	形態	時数	内容			言語活動例			指導目標	評価規準	評価方法
			ア	イ	ウ	ア	イ	ウ			
第一段 春はあけぼの	随筆	1							<p>筆者の美意識や鋭敏な感覚を味わわせる。(関心・意欲・態度)</p> <p>四季の情景を読み取らせ、繰り返し音読させる。 (話す・聞く能力)</p> <p>古語の意味を調べさせ、意味・</p>	<p>筆者の美意識や鋭敏な感覚を味わおうとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>四季の情景読み取り、思い浮かべながら繰り返し音読している。</p>	<p>行動の観察 音読の観察 小テスト ペーパーテスト</p>

								用法について理解させる。 (知識・理解)	(話す・聞く能力) 古語の意味を調べさせ、意味・用法について理解している。 (知識・理解)	
第二二段 すさまじきもの	随筆	2						音読を通して、類聚的章段の特徴を読み味わわせる。 (関心・意欲・態度) 筆者の人間観察の特徴を理解させ、整理させる。 (書く能力) 古語の意味を調べさせ、意味・用法について理解させる。 (知識・理解)	音読することで、類聚的章段の特徴を捉え、読み味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 「すさまじきもの」に注目した筆者の人間観察の特徴を理解し、整理してまとめている。 (書く能力) 古語の意味を調べさせ、意味・用法について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 音読の観察 記述(ノート等)の分析  小テスト ペーパーテスト
第三四段 木の花は	随筆	1						現代にも通じる自然に対する感じ方を豊かにさせる。 (関心・意欲・態度) 筆者の自然に対するとらえ方を理解させる。 (書く能力) 助詞の意味と用法を理解させる。 (知識・理解)	現代にも通じる筆者の自然に対するとらえ方を読み取り、考え方を豊かにしようとしている。 (関心・意欲・態度) 木の花を評する観点に注目しながら、筆者の自然に対するとらえ方をまとめている。 (書く能力) 「さへ」「だに」などの助詞の意味と用法を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
第三八段 鳥は	随筆	1						筆者の「鳥」に対する考え方の面白さを味わわせる。 (関心・意欲・態度) 具体例の対置や分析の仕方に認められる工夫をまとめさせる。 (書く能力) 古典の世界における「鳥」の扱われ方を理解させる。 (知識・理解)	筆者の「鳥」に対する感じ方、考え方の面白さを味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 具体例の対置や分析の仕方に認められる工夫を整理し、まとめている。 (書く能力) 古典の世界で「鳥」がどのように扱われてきたのかを理解している。 (知識・理解)	行動の観察 音読の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
第三九段 あてなるもの	随筆	1						筆者のとらえ方を踏まえ、自分なりに考えさせる。	筆者のとらえ方を踏まえ、自分なりの意見を伝えようと	行動の観察 話し合い、

									<p>(関心・意欲・態度) 筆者が「あてなるもの」と捉えているものについて話し合わせる。 (話す・聞く能力) 古語の意味を調べさせ、意味・用法について理解させる。 (知識・理解)</p>	<p>している。 (関心・意欲・態度) 筆者がどのようなものを「あてなるもの」と捉えているのか話し合い、自分の考えを述べている。 (話す・聞く能力) 古語の意味を調べさせ、意味・用法について理解している。 (知識・理解)</p>	<p>発表の分析 小テスト ペーパーテスト</p>
第七二段 ありがたきもの	随筆	1							<p>筆者の人間観を踏まえ、自分なりに考えさせる。 (関心・意欲・態度) 筆者の挙げる例の中から、興味を持ったものについて話し合わせる。 (話す・聞く能力) 係助詞の意味と用法について理解させる。 (知識・理解)</p>	<p>筆者の人間観を踏まえ、自分なりの考えを深めようとしている。 (関心・意欲・態度) 筆者の挙げる例を理解し、興味を持ったものについて話し合っている。 (話す・聞く能力) 係助詞の意味と用法について理解させる。 (知識・理解)</p>	<p>行動の観察 話し合いの 分析 小テスト ペーパー テスト</p>
第七七段 御仏名のまたの日	随筆	1							<p>日記的章段の特徴を読み味わわせる。 (関心・意欲・態度) 平安時代の宮中の様子を読み取り、整理してまとめさせる。 (書く能力) 敬語の種類と敬意の対象について理解させる。 (知識・理解)</p>	<p>日記的章段の特徴を捉え、読み味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 平安時代の宮中の様子を読み取り、整理してまとめている。 (書く能力) 敬語の種類と敬意の対象について理解させる。 (知識・理解)</p>	<p>行動の観察 記述(ノ ート等)の 分析 小テスト ペーパー テスト</p>
第一二四段 九月ばかり	随筆	1							<p>筆者が「をかし」と評する事柄について考えさせる。 (関心・意欲・態度) 他人の心中に言及する筆者の心情について話し合わせる。 (話す・聞く能力) 助動詞の意味と用法を理解させる。 (知識・理解)</p>	<p>筆者が「をかし」と評する事柄を捉え、自分なりに考えている。 (関心・意欲・態度) 他人の心中に言及する筆者の鋭い批評を読み取り、筆者の心情について自分の意見を述べている。 (話す・聞く能力)</p>	<p>行動の観察 話し合い、 発表の分析 小テスト ペーパー テスト</p>

										助動詞の意味と用法を理解している。(知識・理解)	
第一二九段 頭の弁の、職に参り 給ひて	随筆	1							発表する際の表現を工夫させる。 (関心・意欲・態度) 頭の弁と筆者のやりとりを通して、両者の人間関係について話し合わせる。(話す・聞く能力) 清少納言を取り巻く人間関係について理解させる。 (知識・理解)	自分の考えを発表する際、表現を工夫しようとしている。 (関心・意欲・態度) 頭の弁と筆者のやりとりを通して、両者の人間関係について話し合う際、表現を工夫している。 (話す・聞く能力) 清少納言を取り巻く人間関係について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 話し合い、 発表の分析 小テスト ペーパーテ スト
第一三六段 殿などのおはしまさ でのち	随筆	2							中宮の筆者に対する気遣いを的確に捉えさせる。 (関心・意欲・態度) 筆者の体験から、宮中の権力争いの様子整理し、発表させる。 (話す・聞く能力) 清少納言を取り巻く人間関係について理解させる。 (知識・理解)	中宮の筆者に対する気遣いを的確に捉えようとしている。 (関心・意欲・態度) 筆者の体験から、宮中における権力争いについて整理し、発表している。 (話す・聞く能力) 清少納言を取り巻く人間関係について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 発表の分析 小テスト ペーパーテ スト
第一七四段 雪のいと高うはあら で	随筆	1							和歌や漢文を踏まえた会話を読み味わわせる。 (関心・意欲・態度) 前提となる和歌や漢文の用いられ方を読み比べ、感じたことを話し合わせる。 (話す・聞く能力) 助詞・助動詞の意味と用法を理解させる。 (知識・理解)	前提となる和歌や漢文の意味を捉え、それらを踏まえた会話を味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 前提となる和歌や漢文の用いられ方を読み比べ、感じたことを話し合っている。 (話す・聞く能力) 助詞・助動詞の意味と用法を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 話し合いの 分析 小テスト ペーパーテ スト
第一七五段 村上の前帝の御時に	随筆	1							漢詩を踏まえた会話を読み味わわせる。 (関心・意欲・態度) 兵衛の蔵人の才知と筆者の意図について話し合わせる。 (話す・聞く能力) 敬語の種類と敬意の方向を理解させる。 (知識・理解)	前提となる漢詩の意味を捉え、それを踏まえた会話を味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 兵衛の蔵人の機転を發揮した歌と、それを記した筆者の意図について自分なりの表現	行動の観察 話し合いの 分析 小テスト ペーパーテ スト

										で説明している。 (話す・聞く能力) 敬語の種類と敬意の方向を 理解させる。(知識・理解)		
第二二三段 御乳母の大夫の命婦	随筆	1								筆者の人間観察の特徴を理解させ、その心情を味わわせる。 (関心・意欲・態度) 扇に描かれた絵の意味を考え、 文章にまとめさせる。 (書く能力) 和歌の修辞について理解させる。 (知識・理解)	筆者の人間観察の特徴を理解し、その心情を味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 扇に描かれた絵の意味を捉え、 筆者の心情を踏まえて文章にまとめている。 (書く能力) 和歌の修辞について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
第二二三・二三四・ 二三五段 日は・月は・星は	随筆	1								音読を通して、優れた表現に親しませる。(関心・意欲・態度) それぞれ「あはれ」と感じている点を整理し、まとめさせる。 (書く能力) 筆者の自然に対するとらえ方を理解させる。(知識・理解)	繰り返し音読することで、短い文に思想を込める、優れた表現に親しもうとしている。(関心・意欲・態度) それぞれ「あはれ」と感じている点を整理し、文章にまとめている。(書く能力) 筆者の自然に対するとらえ方を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 音読の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
第二九三段 大納言殿参り給ひて	随筆	1								具体的な逸話を通して、筆者の人物評を読み味わわせる。 (関心・意欲・態度) 筆者が大納言を素晴らしく感じた理由を考え、文章にまとめさせる。 (書く能力) 古語の意味、用法を理解させる。 (知識・理解)	筆者がこの文章を書いた意図を考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 筆者が大納言の言動を素晴らしいと評した理由を考察し、筋道を立てて文章にまとめている。(書く能力) 古語の意味、用法を辞書で調べ、理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
跋文 この草子、目に見え 心に思ふことを	随筆	1								筆者は『枕草子』が流布したことをどう思っていたのか捉えさせる。 (関心・意欲・態度) 『枕草子』の成立や流布の経緯を整理し、まとめさせる。 (書く能力) 『枕草子』の文学的位置を理解	筆者は『枕草子』が流布したことをどのように思っていたのか捉えようとしている。 (関心・意欲・態度) 『枕草子』の成立や流布にいたる経緯を整理し、文章にまとめさせる。	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト

										させる。 (知識・理解)	(書く能力) 『枕草子』の文学的位置を 理解している。 (知識・理解)
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----------------	--

【大鏡】

教材名	形態	時 数	内容			言語活動例			指導目標	評価規準	評価方法
			ア	イ	ウ	ア	イ	ウ			
序 雲林院の菩提講	物語	1							歴史が語られる設定の面白さを味わわせる。 (関心・意欲・態度) 登場人物を整理し、まとめさせる。 (書く能力) 『大鏡』の特徴である対話形式を生む 語りの場 を理解させる。 (知識・理解)	歴史が語られる舞台の設定の面白さを味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 登場人物を整理し、まとめしている。 (書く能力) 『大鏡』の特徴である対話形式を生む 語りの場 を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
序 かくて講師待つほどに	物語	2							登場人物の役割について考えさせる。 (関心・意欲・態度) 歴史が語られる目的や構想を整理し、まとめさせる。 (書く能力) 古語の意味、用法を理解させる。 (知識・理解)	この場面の登場人物が果たす役割について考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 歴史が語られる目的や構想を整理し、まとめている。 (書く能力) 古語の意味を調べ、その意味・用法を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
菅原道真 東風吹かば	物語	2							和歌に込められた道真の心情について考えさせる。 (関心・意欲・態度) 道真が太宰府に流させた原因を、語り手はどう見ているのか話し合わせる。 (話す・聞く能力) 助詞・助動詞の意味、用法を理解させる。 (知識・理解)	二つの和歌は道真のどのような心情を歌っているのか考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 道真が太宰府に流された原因を、語り手はどう見ているのか、相手の意見を尊重しながら話し合っている。 (話す・聞く能力) 助詞・助動詞の意味、用法を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 話し合いの分析 小テスト ペーパーテスト

菅原道真 都府楼の鐘	物語	2							道真が、死後現人神としてまつられた理由について考えさせる。 (関心・意欲・態度) 道真の心情を、和歌や漢詩を通してまとめさせる。(書く能力) 漢詩の形式について理解させる。 (知識・理解)	道真が、死後現人神としてまつられたのはなぜか考え用としてしている。 (関心・意欲・態度) 道真の心情を、和歌や漢詩を通して考え、文章にまとめている。(書く能力) 漢詩の形式について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
藤原師輔 百鬼夜行	物語	1							師輔が百鬼夜行に出会った逸話の面白さを味わわせる。 (関心・意欲・態度) この話を讀んだ感想について、話し合わせる。 (話す・聞く能力) 助詞・助動詞の意味、用法について理解させる。(知識・理解)	師輔が百鬼夜行に出会った逸話の面白さを味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) この話を讀んで感じたことを、お互いの考えを尊重しながら話し合っている。 (話す・聞く能力) 助詞・助動詞の意味、用法について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 話し合いの分析 小テスト ペーパーテスト
藤原氏の相克 最後の除目	物語	2							兼通と兼家兄弟の関係について考えさせる。 (関心・意欲・態度) 兼通と兼家、両者の心情について話し合わせる。 (話す・聞く能力) 兼通と兼家兄弟を取り巻く、藤原氏の間関係を理解させる。 (知識・理解)	兼通と兼家兄弟の関係に見られる権力争いの激しさについて考えている。 (関心・意欲・態度) 兼通と兼家、両者の心情について話し合っている。 (話す・聞く能力) 兼通と兼家兄弟を取り巻く、藤原氏の間関係を理解している。(知識・理解)	行動の観察 話し合いの分析 小テスト ペーパーテスト
比べて読んでみよう 伊周・隆家	物語	2							読み比べを通して、伊周や隆家の描かれ方の違いを実感させる。 (関心・意欲・態度) 『大鏡』と『枕草子』の描かれ方の違いの理由について話し合わせる。(話す・聞く能力) 古語の意味、用法を理解させる。 (知識・理解)	読み比べを通して、伊周や隆家の描かれ方の違いを実感している。 (関心・意欲・態度) 『大鏡』と『枕草子』の描かれ方の違いの理由について話し合っている。 (話す・聞く能力) 古語の意味、用法を理解させる。 (知識・理解)	行動の観察 話し合いの分析 小テスト ペーパーテスト
藤原道長	物語	2							道長が栄花を極めるに至る強運	道長が栄花を極めるに至る	行動の観察

強運								を実感させる。 (関心・意欲・態度) 語り手が、死去した大臣・公卿の名を列挙した意図を説明させる。 (話す・聞く能力) 道長を取り巻く、藤原氏の間人間関係を理解させる。 (知識・理解)	強運を実感させる (関心・意欲・態度) 語り手が、死去した大臣・公卿の名を列挙した意図を、筋道を立てて説明している。 (話す・聞く能力) 道長を取り巻く、藤原氏の間人間関係を理解している。 (知識・理解)	発表の分析 小テスト ペーパーテスト
藤原道長 競射	物語	1						道長の強さを読み味わわせる。 (関心・意欲・態度) 道長の言動に、道隆一家はどう反応したのか整理させる。 (書く能力) 道長一家と道隆一家の対立意識を理解させる。 (知識・理解)	自信に満ちあふれた道長の強さを読み味わおうとしている。 (関心・意欲・態度) 道長の来訪とその言動に、道隆一家はどう反応したのか整理し、自分の考えを文章にまとめている。 (書く能力) 道長一家と道隆一家の当時の立場と対立意識を理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
藤原道長 姉、詮子	物語	1						詮子が道長のためにとった行動について考えさせる。 (関心・意欲・態度) 詮子と帝の心情を読み取り、説明させる。 (話す・聞く能力) 連用形の中止法について理解させる。 (知識・理解)	詮子が道長のためにとった行動について考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 詮子と帝の心情を読み取り、筋道を立てて説明している。 (話す・聞く能力) 連用形の中止法について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 発表の分析 小テスト ペーパーテスト
懐旧談 鶯宿梅	物語	1						貫之の女の意図について考えさせる。 (関心・意欲・態度) 村上帝と貫之の女のやりとりを踏まえ、繁樹の心情について説明させる。 (書く能力) 助詞「の」の意味、用法について理解させる。 (知識・理解)	貫之の女の風流な抗議を理解させ、その意図について考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 村上帝と貫之の女のやりとりを踏まえ、繁樹の心情について文章で説明している。 (書く能力) 助詞「の」の意味、用法について理解している。 (知識・理解)	行動の観察 記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
講師登場	物語	1						物語の余韻を味わわせる。	聞き漏らしたことを聞けな	行動の観察

老人の行方																	記述(ノート等)の分析 小テスト ペーパーテスト
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--------------------------------

(関心・意欲・態度)  
 冒頭と結末とがどのように照応しているのかを説明させる。  
 (書く能力)  
 『大鏡』の世界の構築の仕方を理解させる。(知識・理解)

いまま、老人達が行方知れずとなってしまう、物語の余韻を味わおうとしている。(関心・意欲・態度)  
 冒頭と結末とがどのように照応しているのかを整理し、文章にまとめている。  
 (書く能力)  
 『大鏡』の世界の構築の仕方を理解している。  
 (知識・理解)

- 1 「指導事項」については、各教材において指導する学習指導要領の内容に をつけて示し、さらに重点的に指導する内容については を付けて示す。
- 2 「指導目標」及び「評価規準」については、5観点のうち、「関心・意欲・態度」を1つ、「話す・聞く能力」「書く能力」から1つ、「知識・理解」を1つの計3つを重点化して示している。また、「評価規準」は、「B規準(おおむね満足できると判断できるもの)」を示している。